

福祉関係従事者生涯 研修体系図 階層ごとに学ぶ教育要素

★階層 ◇求められる役割 ◎求められる役割・能力	共通の領域																										
	組織運営・管理 (組織経営管理・メンバーシップ・リーダーシップ・人材育成・業務課題の解決と実践研究)										福祉サービスの倫理と基本理念					メンタルヘルス・セルフマネジメント				多職種連携・地域協働・地域課題の発見と解決に向けて				リスクマネジメント			
★第5段階：上級管理者レベル (経営職、トップマネジャー) ◇法人理念・経営方針の策定 事業計画の策定 組織の財務管理と労務管理の統括 ◎自身の施設・事業所のサービスをモニタリングし、運営統括責任者として、組織運営を調整し、自組織を改善・向上させることができる。	改善	制度の構築と運用、	経営への応用			体制整備	上級管理者としてのコミュニケーション技術	トップとしてのリーダーシップ	組織経営課題の発見・分析課題解決のためのトップマネジメント	支援方策の検討と実施職場環境づくり	組織方針の決定と体制環境整備	サービスの質の管理と環境整備			体制整備 対策の実践				行政と他機関との連携 方針の決定 体制整備	方針の決定 制度の構築と運用、 改善	制度の構築と運用、管理 (コンプライアンスマネジメント)						
★第4段階：管理職レベル ◇上級管理職の補佐 事業ごとの事業計画策定、経営管理、労務管理 リスク管理 ◎・施設・事業所等の運営・経営環境を理解し、他部門や地域の関係機関と連携・実践する。 ・教育指導者として教育研修プログラムを開発・実施・評価する。	(適切な制度運用)	実践と展開	自職場の理解			育成推進	管理者としてのコミュニケーション技術	トップを補佐するリーダーシップ	自職場課題と発見・分析サービスの質の管理						健康管理	要因分析 環境改善	職場管理		実践の点検と マネジメント	地域協働の実践と 開発・マネジメント 地域課題の解決に 向けての実践	予防と管理 対策の推進						
★第3段階：主任・リーダーレベル ◇管理職の補佐 チームリーダーとしての部下への指導・育成 ◎・担当業務全体の遂行に責任を持つとともに、問題解決、業務改善を行う。 ・事例研究等を通じて自らのスキルを高める。	人事考課制度	制度規定の理解				技術の活用	リーダーとしてのコミュニケーション技術	チームのリーダーシップ	階層別の業務課題に対応した解決策の検討・推進	研究の意義と 進め方	チームによる 実践と展開	ニーズに基づく 福祉サービスの チームによる展開			自己管理 チーム管理			職場内の多職種連携 協働の推進	住民、地域社会、ボランティア等との 連携協働の実践 地域課題の発見 他組織や地域の関係機関との 多職種連携協働の理解と実践	苦情への対応 (実践を通じた解決の推進)	実践への展開						
★第2段階：中堅レベル ◎・担当する業務において、一人で(指示なしで)行うことができる。 ・自己啓発に取り組み、自身の課題を解決できる。チームの中での自分の役割を見出し、行動することができる。 ・新任職員、実習生等に対し、助言・指導ができる。	基本の理解		基本の理解			技術の修得	従事者の基本としてのコミュニケーション技術	メンバーシップの 確立と実践	業務課題の発見分析	研究の必要性理解 研究課題の発見と取り組み	尊厳職業倫理の理解と実践	利用者・家族の理解に基づく ニーズの把握と支援			自己管理 他者理解	健康管理の基本と実践	職場内の多職種連携協働の理解 (チーム実践、仲間との連携)	リスクへの気づきと対応 リスクを生まない環境づくり	基本的理解								
★第1段階：新任職員 ◎・福祉の基本的な理念や法令等を理解し、指導・教育を受けながら、基本的な実践を安全に行うことができる。 ・法人・施設・事業所等の理念を理解するとともに、社会人としてのルール・マナー等を理解・実践する。							従事者の基本としてのコミュニケーション技術(基礎と技術)	基本の理解	必要性の理解						自己理解		地域との連携協働 の重要性	リスクの理解	苦情の理解	基本の理解							
教育内容	労務の理解と 管理の実践	人事制度の理解と 管理の実践	財務の理解と 経営への応用	エルタ！ チャーター養成	ファシリテーター 養成	部下の育成と能力開発 コーチングスキル養成	コミュニケーションの 技術	メンバーシップの 理解と実践	リーダーシップの 理解と実践	業務課題への対応 (職場の問題解決) 業務課題の発見と 分析(職場の課題形成)	実践研究の推進	福祉サービスの倫理 と基本理念 (尊厳の保持・権利擁護)	利用者・家族の理解 と支援	福祉サービスの基礎 と実践	キャリアデザイン	身体 の健康	メンタルヘルス ストレスマネジメント モチベーション マネジメント	組織の中での 多職種連携協働 (専門性の理解・チーム実践等) 構築・行政との連携等	他地域におけるイン フォーマルサービス との連携・協働 (住民・地域社会・ボランティア等) 他組織や地域の専門 職との連携協働 専門性の理解・ネットワーク 構築・行政との連携等	利用者や地域の リスクへの対応	苦情への対応	コンプライアンスの 理解と順守					
	組織運営管理			人材育成			メンバーシップ・リーダーシップ		業務課題の解決と実践			福祉サービスの基本理念		セルフマネジメント(自己管理と環境づくり)				多職種・地域協働			リスクマネジメント						

見方

この体系図は福祉・介護等の全ての業種や職種に共通する教育内容として作成しました。

自身の立場(階層)で求められる教育内容の研修等を受講し、知識や技術の習得ができていますか、参考できる表になっています。

縦軸には、新任職員から上級管理者の5階層に分け、各階層で求められる役割・能力を記載しています。

横軸には、各階層で習得すべき教育内容を記載しています(5領域25教育内容)。

使い方

●自分が今いる立場(階層)を探します。まだ受講・習得していない教育内容は何か、把握します。

!すでに研修等を受講して習得している教育内容はどれか、チェックしてみましょう

!受講・履修済みの教育内容に色を塗ってみると履修実績や習得傾向が一目瞭然です。

【キャリアアップ方法】

一つ上の階層に記載されている教育内容に関する研修等を受講・履修することで、その階層に就くための「準備」につながります。

留意点!

この体系図は、業種・職種に共通する基礎的教育内容です。実際の業務に必要な個別的な教育内容は、職場や施設連盟、職能団体等の研修受講が必要です